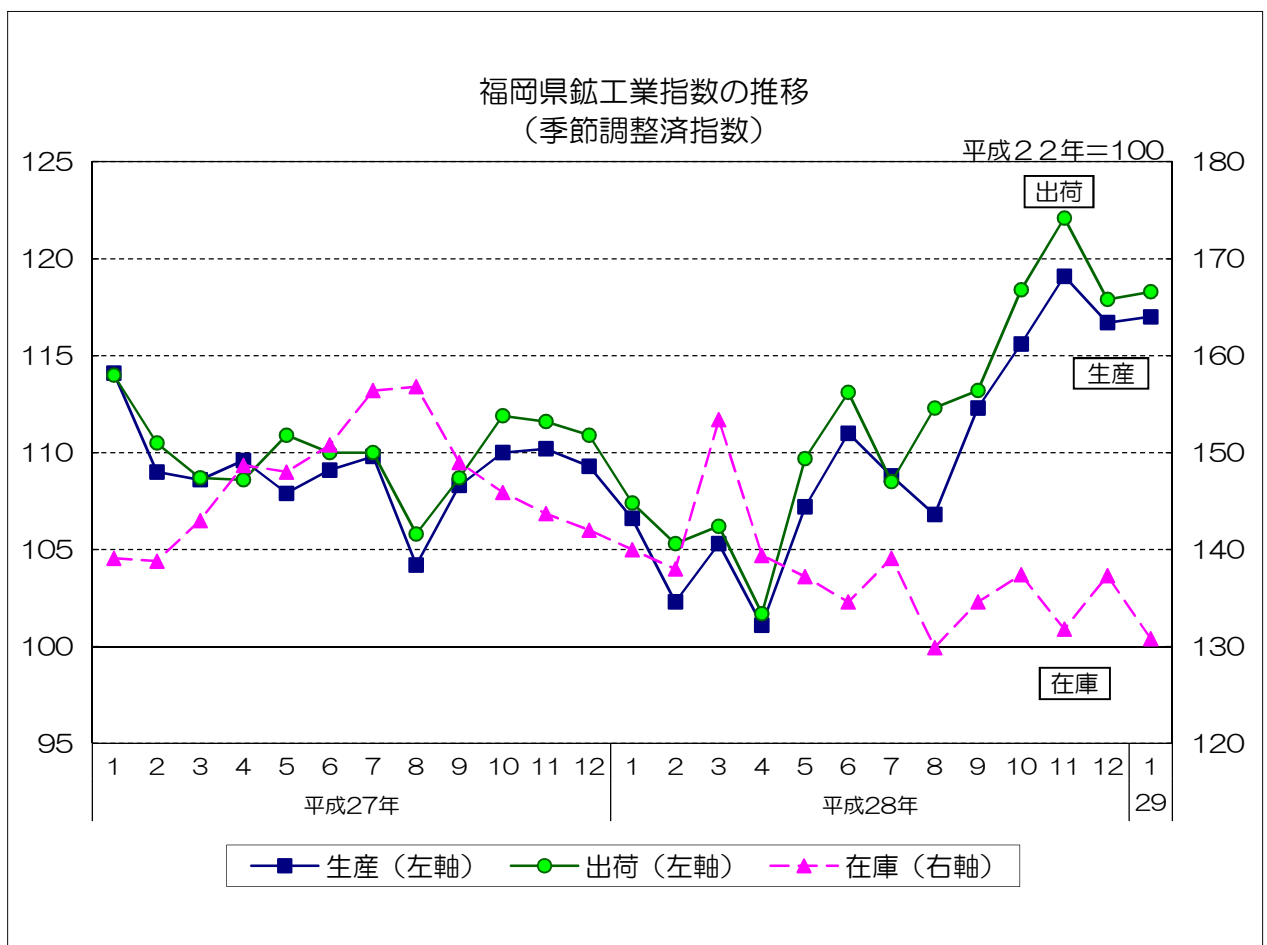


平成22年基準

# 福岡県鉱工業指数月報

(平成29年1月)



## 福岡県鉱工業指数 利用上の注意

1. 基準年次  
平成22年（2010年）を基準年とする。
2. 作成の範囲  
日本標準産業分類の鉱業及び製造業を基礎とした産業の生産指数（付加価値額ウェイト）、生産者出荷指数及び生産者製品在庫指数について、原指数と季節調整済指数指数を作成した。
3. 分類  
日本標準産業分類を基本とした業種分類と、採用品目の用途により財別に格付けした特殊分類の2通りの方法によっている。
4. 採用品目  
生産指数及び生産者出荷指数は187品目、生産者製品在庫指数は118品目である。
5. ウェイト  
生産、出荷及び在庫指数のウェイトは、基準年次の付加価値額、生産者出荷額及び生産者製品在庫指数の鉱工業に対する各品目の一万分比である。
6. 作成の方法  
総合算式は、基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）である。
7. 季節調整  
季節調整の方法は、センサス局法を使用している。  
季節調整済指数とは、季節調整済指数で原指数を割ることによって、季節変動を除去した系列のことである。
8. 統計表中の符号  
「-」：該当する数値がない場合  
「0.0」：数値が単位未満の場合  
「▲」：マイナスの場合  
「x」：秘匿の場合
9. 資料  
経済産業省生産動態統計調査、その他既存の資料及び県調査による。

## 平成29年1月の鉱工業指数

### 概況

○ 平成29年1月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比0.3%上昇の117.0、出荷が同0.3%上昇の118.3、在庫が同4.7%低下の130.8となった。

- |        |                           |             |
|--------|---------------------------|-------------|
| (1) 生産 | 季節調整済指数 : 117.0で前月比0.3%上昇 | (2か月ぶりの上昇)  |
|        | 原指数 : 106.9で前年同月比11.5%上昇  | (6か月連続の上昇)  |
| (2) 出荷 | 季節調整済指数 : 118.3で前月比0.3%上昇 | (2か月ぶりの上昇)  |
|        | 原指数 : 107.2で前年同月比12.0%上昇  | (6か月連続の上昇)  |
| (3) 在庫 | 季節調整済指数 : 130.8で前月比4.7%低下 | (2か月ぶりの低下)  |
|        | 原指数 : 129.6で前年同月比6.6%低下   | (10か月連続の低下) |

○ 前月比（季節調整済）	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（19業種中）	: 9業種	1業種	9業種
出荷（19業種中）	: 10業種	0業種	9業種
在庫（18業種中）	: 11業種	1業種	6業種

### (1) 九州・全国との比較

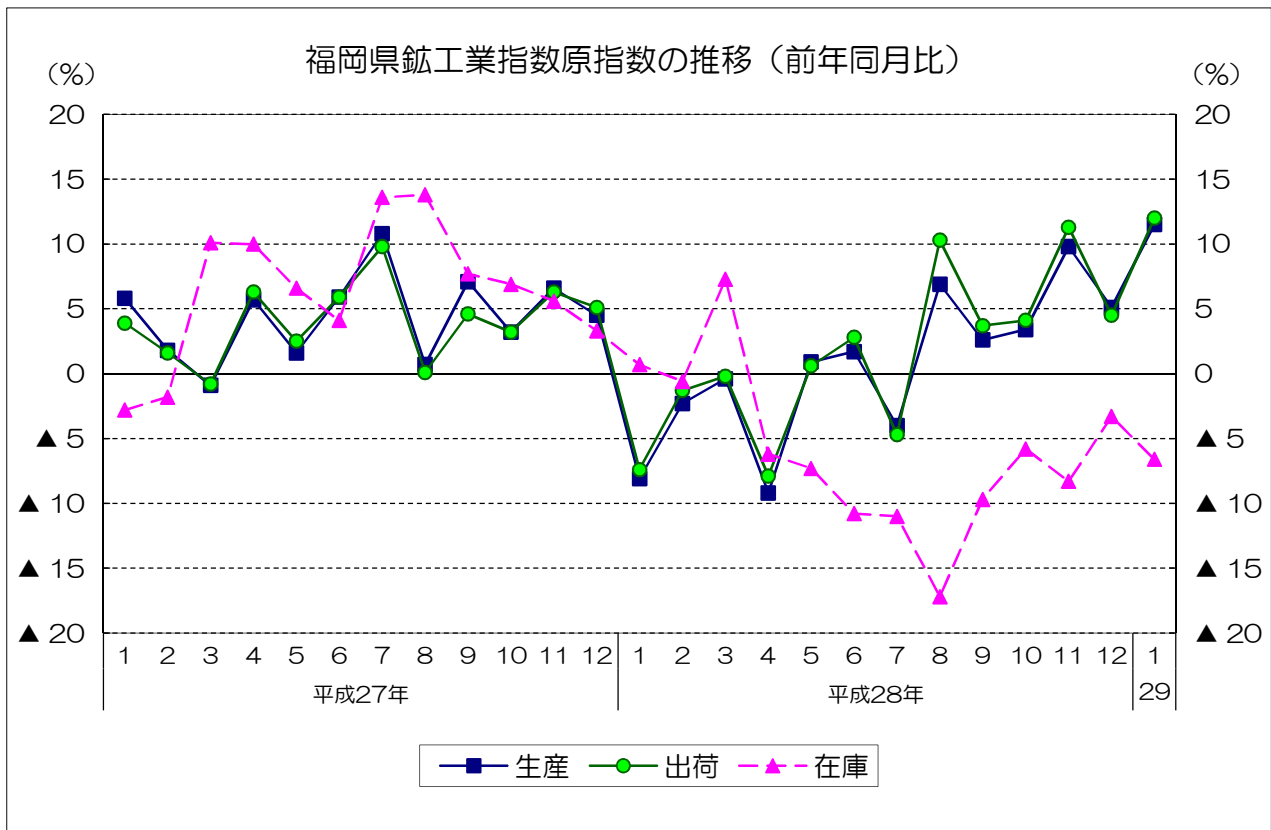
（平成22年=100）

		季節調整済指数		原指数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	117.0	0.3	106.9	11.5
	出荷	118.3	0.3	107.2	12.0
	在庫	130.8	▲4.7	129.6	▲6.6
九州	生産	110.6	▲2.0	103.1	12.7
	出荷	113.2	▲0.5	104.9	12.1
	在庫	111.7	▲2.1	113.4	▲8.6
全国	生産	100.2	▲0.4	93.1	3.7
	出荷	99.2	0.3	91.9	4.3
	在庫	107.4	▲0.1	111.1	▲4.4

### (2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
電子部品・デバイス工業 プラスチック製品工業 化学工業 木材・木製品工業 金属製品工業 印刷業 非鉄金属工業 ゴム製品工業 鉱業	輸送機械工業 はん用・生産用機械工業 食料品・たばこ工業 電気機械工業 家具工業 繊維工業 石炭製品工業 鉄鋼業 窯業・土石製品工業

(3) 原指数の推移



(4) 四半期別指数の推移

平成22年=100

		生産		出荷		在庫	
		季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)
27年	10~12月期	109.8	2.2	111.5	3.0	142.0	▲ 4.7
28年	1~3月期	104.7	▲ 4.6	106.3	▲ 4.7	153.4	8.0
	4~6月期	106.4	1.6	108.2	1.8	134.6	▲ 12.3
	7~9月期	109.3	2.7	111.3	2.9	134.6	0.0
	10~12月期	117.1	7.1	119.5	7.4	137.3	2.0
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
27年	10~12月期	110.4	4.7	112.9	4.8	138.9	3.3
28年	1~3月期	105.1	▲ 3.5	106.6	▲ 2.8	138.6	7.3
	4~6月期	104.4	▲ 2.2	105.5	▲ 1.4	134.0	▲ 10.8
	7~9月期	112.4	1.4	113.7	2.5	143.0	▲ 9.7
	10~12月期	117.1	6.1	120.4	6.6	134.3	▲ 3.3

※在庫の数値は期末値。

## 全業種・主要8業種の動向

(平成29年1月)

### ○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は117.0(季節調整済)となり、前月と比べると、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業などが低下したが、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業などが上昇したため、総合で前月比0.3%上昇(前年同月比11.5%上昇)となった。
- (2) 出荷指数は118.3(季節調整済)となり、前月と比べると、輸送機械工業、金属製品工業などが低下したが、電子部品・デバイス工業、食料品・たばこ工業などが上昇したため、総合で前月比0.3%上昇(前年同月比12.0%上昇)となった。
- (3) 在庫指数は130.8(季節調整済)となり、前月と比べると、化学工業、鉄鋼業などが上昇したが、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業などが低下したため、総合で前月比4.7%低下(前年同月比6.6%低下)となった。

### ○ 主要8業種の動向

#### [生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲0.1	▲0.6	鋼帯、冷延広幅帯鋼、銑鉄铸件等
金属製品	1.6	2.7	粉末や金製機械材料、ガス湯沸器、金網等
はん用・生産用機械	▲13.1	▲0.7	半導体製造装置、ショベル系掘削機、鉄鋼用ロール等
電子部品・デバイス	13.9	84.0	トランジスタ等
輸送機械	▲3.6	22.6	四輪自動車等
窯業・土石製品	▲0.1	▲0.7	プレストレストコンクリート製品、ほうろう鉄器、道路用コンクリート製品等
化学	3.0	8.5	ポリカーボネート、ビスフェノールA、複合肥料等
食料品・たばこ	▲1.1	▲4.3	固型カレー等
総合	0.3	11.5	—

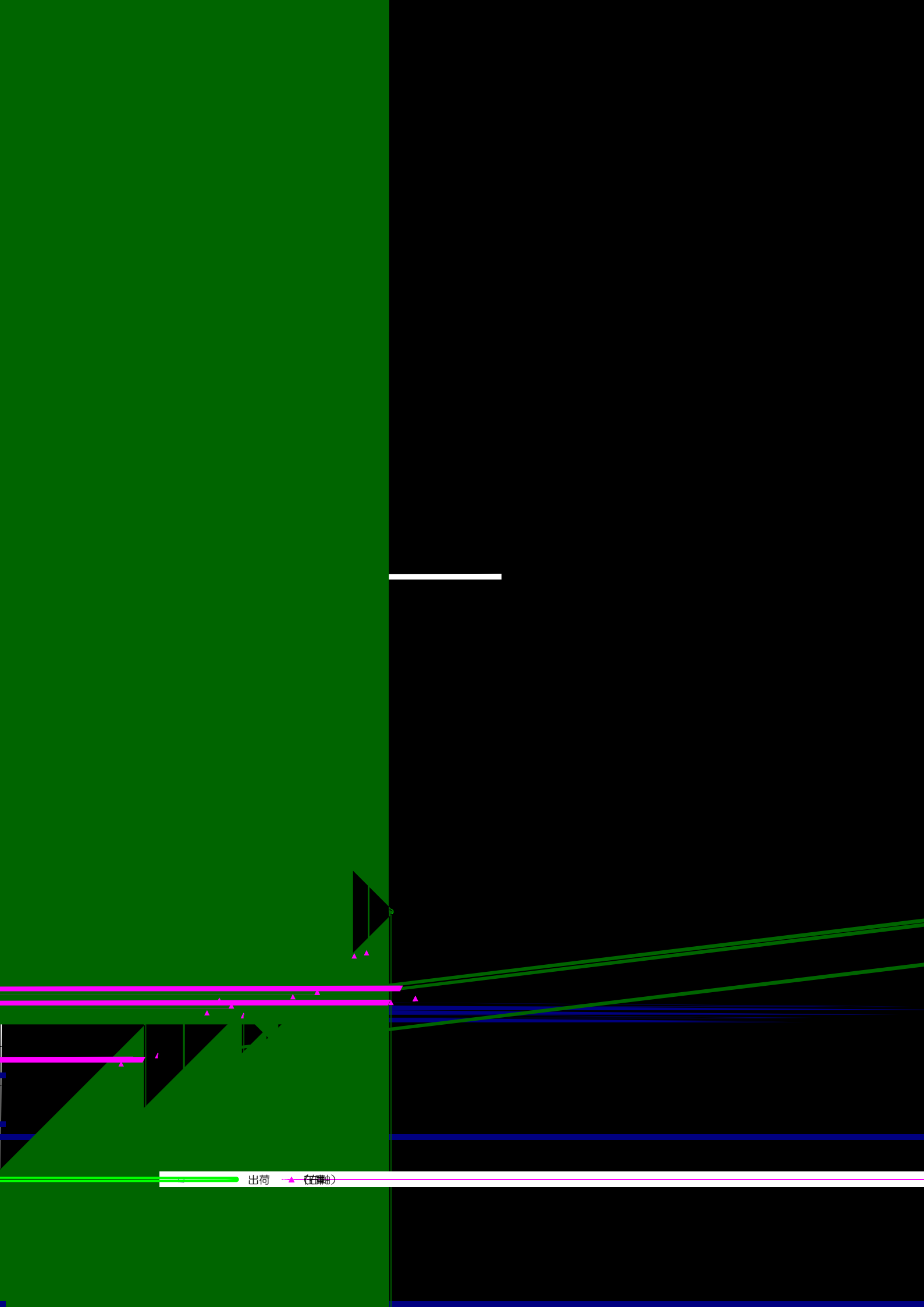
#### [出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	0.1	6.3	冷延電気鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材等
金属製品	▲9.0	0.3	飲料用缶等
はん用・生産用機械	▲4.5	2.4	半導体製造装置、産業用ロボット部品・付帯装置、鉄鋼用ロール等
電子部品・デバイス	13.3	82.5	トランジスタ等
輸送機械	▲1.9	23.0	四輪自動車、エンジン、駆動伝導及び操縦装置部品等
窯業・土石製品	▲1.1	4.8	衛生用陶磁器、遠心力鉄筋コンクリート製品、せっこうボード等
化学	▲0.9	1.2	ビスフェノールA、触媒、合成染料等
食料品・たばこ	1.7	▲5.7	ビール、清涼飲料、めん類等
総合	0.3	12.0	—

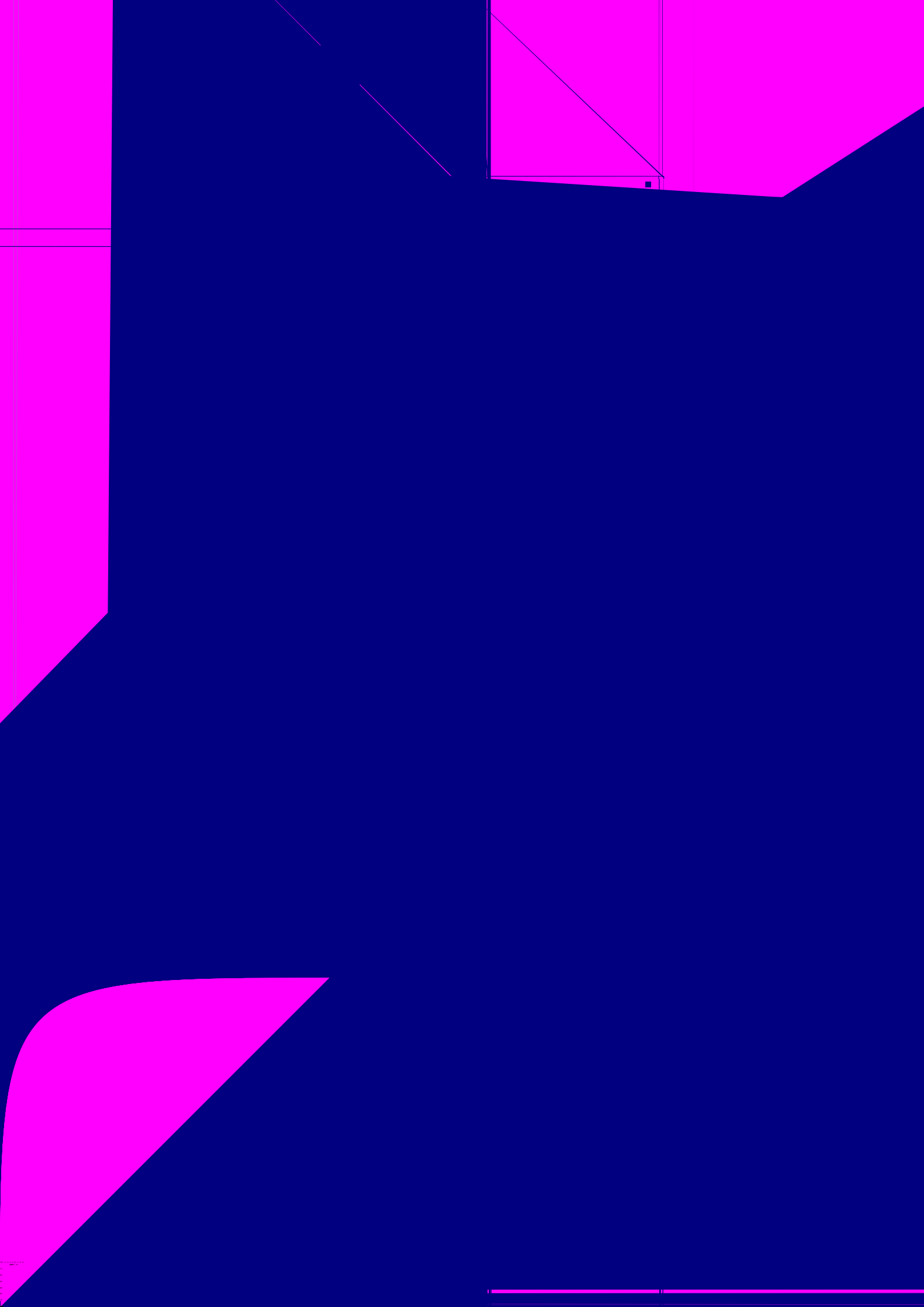
#### [在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	3.7	▲14.3	鋼半製品、軌条・外輪等
金属製品	0.2	▲9.7	ガス湯沸器等
はん用・生産用機械	▲24.9	▲21.0	ショベル系掘削機等
電子部品・デバイス	10.5	47.0	線形回路等
輸送機械	▲3.1	1.9	四輪自動車等
窯業・土石製品	▲1.5	57.7	道路用コンクリート製品、プレストレストコンクリート製品、不定形耐火物等
化学	12.9	▲4.9	ビスフェノールA、触媒、ポリカーボネート等
食料品・たばこ	▲4.5	▲2.7	焼酎、味噌等
総合	▲4.7	▲6.6	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。



出荷 (右軸)



平成22年基準 福岡県鉱工業指数月報  
(平成29年1月)

福岡県企画・地域振興部調査統計課  
代 表 (092) 651-1111

直 通 (092) 643-3190  
F A X (092) 643-3192  
e-mail chosa@pref.fukuoka.lg.jp